

廃校を再生した「オーガニック新発田」—キネス天王・キネス本田による地域循環共創モデル—

長岡技術科学大学、鹿児島工業高等専門学校、株式会社アイビーシステム、菊水酒造株式会社、させ農園株式会社、有限会社アグリ・システム、有限会社加藤農場、新発田市[商工振興課、観光振興課、農林水産課]

新潟県新発田市の「オーガニック新発田」プロジェクトは、廃校を地域再生の拠点に転用し、農業・工業・環境・防災を統合した総合知による持続可能なまちづくりを進めている。旧天王小学校を再生した「キネス天王」では、発酵・微生物・地域資源循環の研究と市民協働の場を備え、大学の科学知と生活知が交差する拠点として機能する。2025年に開設される「キネス本田」は実践型の農業拠点となり、地域課題の把握から現場実証までを一体で行う場となる。両者が連携して「学び」「実践」「共創」が循環する地域エコシステムを形成し、農業・環境・教育・観光を結ぶ未来志向の地方創生モデルを発信している。

総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題

多様な企業・大学拠点の集積により持続可能な「オーガニックビレッジ」の循環モデルを確立する。バイオマスの肥料・エネルギー利用で環境負荷低減と経済性を両立させ、若者が定着し持続的に発展するレジリエントな地域社会を目指す。

ビジョン達成の課題

農業・工業・環境・防災を統合した持続可能なまちづくりを進めるためには、大学の科学知と市民の生活知を継続的に接続し、廃校を拠点とした学びと実践を地域全体へ波及させる必要がある。研究と現場実証を一体で回す運営体制の確立が課題である。

「矩」を超えた場づくり / 得られた新たな価値

廃校を再生した「キネス天王」と「キネス本田」を核に、研究・市民協働・実践を結ぶ場を構築した。具体的には、発酵や微生物研究などの科学知と地域資源循環の生活知が交差し、「学び」「実践」「共創」が循環する地域エコシステムを形成し、農業・環境・教育・観光を結ぶ未来志向の地方創生モデルを発信している。



【多様な知の集結：未来志向の地方創生モデル】

それぞれが持つ知・技術・経験を集結し、新たな価値を創出



知の拠点・実践の場：農業・工業・環境・防災・観光



廃校を地域再生
の拠点に転用



夏休みこども実験教室



地域のステークホルダーとの対話

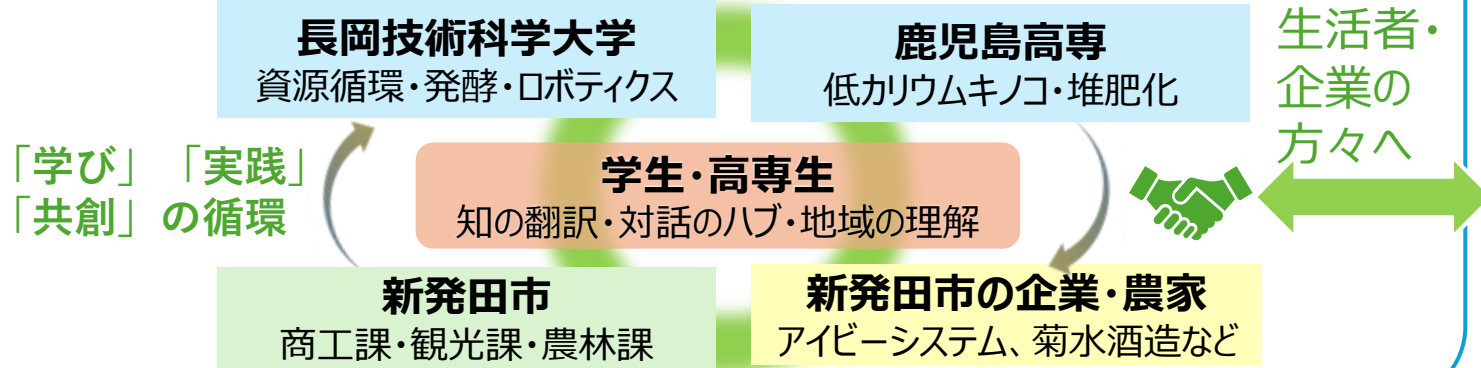


企業・子供・生活者の交流



開発ロボットの実証

共創の場・ エコシステム



総合知による実践



地域課題 解決の取り組み例

スマートきのこ栽培
未利用バイオマス活用・
高付加価値化・効率化

資源循環・発酵技術
未利用バイオマス活用・
持続可能な農業

スマート農業・自動化
若者もやりたい魅力的な
農業・労働不足解消

社会変革

持続可能なまちづくりへ

目指す姿



レジリエントな地域社会
若者定着・防災強化・多世代共創

オーガニックビレッジ新発田
環境と経済の両立



事例 バイオマス活用型の新規きのこ生産技術の実証と腎臓病患者QOL向上食品の開発

オリジナル技術であるきのこ実体のカリウム同化機能制御技術を活用した慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease, CKD）患者のQOL向上のための低カリウム食品の創生と、カーボンニュートラルを目指す地域での農林水産業に関わるバイオマス資源循環型社会システムの実証を図る

